

第53期入学式 式辞

春爛漫の本日、福山市長代理・中島副市長のご出席、熊谷市議会議長、多田市老連会長、池口元老大学長、高橋元学長、吉川前学長を始めとするご来賓、講師の先生方のご臨席を賜り、大勢の老大学生の出席をいただき、福山市老人大学第53期入学式が挙行できますこと、大変有難く嬉しく存じます。

今年度の入学学生数は1,489人、内、新規学生は217人です。男女比は、男性475人、31.9%、女性1,014人68.1%。平均年齢は75.9歳、90歳以上の方は25人、最高齢は96歳の方になります。

複数教科受講者は149人で、延べ受講者は1,638人、昨年より40人の増となっています。

受講における特徴的な事では、昨年度からスマホ講座を9クラスに拡大しましたが、昨年以上に受講希望者が多く、216人の定員がほぼ満席になっています。

さて、この3年間、新型コロナウイルスにより、老大学生は休講、臨時休講と学生の皆さんの期待に届くことができませんでした。昨年度は何とか、本講座や行事等、年間を通して老大学生の日常を取り戻すことができました。

来月には、新型コロナウイルスは感染法上2類から5類になります。こうしたことから感染症対策は徐々に緩和されてきています。しかし未だ収束したわけではありませんので、感染リスクが高い私達高齢者は、引き続き基本的な感染対策は、出来るだけ行いたいと思います。頑張りましょう。

さて学生の皆さん、第53期、創立50周年を迎えた福山市老人大学へのご入学、誠におめでとうございます。

昭和48年（1973年）6月、社会福祉会館で開校式を行ない、教養・書道・園芸・手芸の4教科に入学生351人でスタートした老人大学。開学は、将来の高齢社会を見据えた、本市の画期的施策でありました。

それから50年、半世紀もの時を経て、今期は32教科、73クラスに延べ

1638人の入学生を迎えています。

この間、11万人を超える市内の高齢者が学生として在籍し、生涯学習に励むことを通して、講師の先生や友達と楽しく充実した時間を過ごし、自らの人生を豊かにしてきました。また、老大での学びや自主的な活動は、広く地域への社会参加・貢献にもつながってきています。

こうしたことが認められ、一般財団法人 生涯学習開発財団から昨年度の「第3回松田妙子賞」に私たちの福山市老人大学が選出され、私が2月の授賞式に臨んでまいりました。誠に光栄なことであり、これまで老大を支えて下さった全ての方々（温かく見守って下さる地域を始めとする市民の皆さん、生涯学習の楽しさを教えてくださる講師の先生方、老大を大切に思い様々な役割やボランティア活動で支えてくれる学生たち、設立し施策として継続する市当局）など、こうした皆様のご尽力が認められたものと思っています。本当に、関係者がみんなで喜び合える嬉しい受賞でした。ありがとうございました。

さて、入学生のみなさん、みなさんはこれから1年間、週に1回、園芸や茶道、絵手紙、古典文学、カラオケ、スマホなどなど、ご自身が希望した教科を学ぶことになります。講師の先生の手ほどきを受けながら、少しずつ上達していきます。学級にはお友達ができます。挨拶をしておしゃべりをすると心が弾んできます。老大に来ることがどんどん楽しくなって、学習の日が待ち遠しくなります。そして、気が付いてみたら、老大に自分の居場所が出来て、いつの間にかとても元気になっていました。

どうでしょうか、私はこのような皆さんの笑顔が、今年も、いっぱい増えることを心から望んでいます。

一方で、みなさんは、単なる受講生や、ましてやお客様ではありません。福山市・市老連・講師の先生・先輩の学生方が尽力され、発展させてきた老人大学の学生であり、その伝統を引き継ぐ主役の一人ひとりです。

進んで学習に取り組み、学級の運営に携わりましょう。学習の場としての校内秩序と環境を守りましょう。共に学ぶ者同士の友情を育み、その輪を広げま

しょう。学生会活動やクラブ活動，ボランティア活動などに頑張って取り組みましょう。

私達の日々の様子や立ち居振る舞いは，ご近所の方や市民の皆さんから関心を持ってみられています。今後とも，温かく見守って頂けるような大学にしましょう。

今年の秋，9月27日にはこのリーデンローズを会場に，「福山市老人大学50周年記念式典」を挙行します。この間老人大学に関わって下さった多くの皆さんに思いを馳せ感謝するとともに，現在，老犬に集い学んでいることに誇りを持って，記念すべき時を共にお祝いしたいと思います。

去る2月，第52期修了式後の春休み，校内のばら花壇には，ばらづくり講師の先生とローズマインドのボランティア学生達が集まり，何日もかけて草取りや選定作業を行なったり，新たなネームプレートを取り付けたりなど，美しい花壇へと環境整備を行なってくださいました。きっと，2年後の第20回世界バラ会議福山大会の時には，老犬のバラ花壇も薫り高い見事な花を咲かせて大会を盛り上げてくれると思っています。

老人大学を大切にしてくださる皆さん，今期も思い切り老犬生活を楽しみましょう。そして，数年後には現在の学び舎を閉じて新しい地でスタートを切ることになっています。私たちの手で新たな歴史を刻み，力強く次の世代にバトンをつないでいきましょう，と決意を申しあげ，式辞といたします。

2023年（令和5年）4月7日

福山市老人大学 学長 飛田洋悟